

**NEDO懸賞金活用型プログラム**  
**衛星データを活用したソリューション開発**  
**NEDO Challenge**  
**～Satellite Data for Green Earth～**  
**応募要項（懸賞広告）**

＜応募期間＞

応募開始日：2024年3月18日

締め切り日：2024年4月30日 正午

＜受付方法＞

本応募は、専用フォームのみで受付けます。

＜提出先＞

以下ホームページに記載の専用受付フォームから提出ください。

<https://space-data-challenge.nedo.go.jp>

＜問い合わせ先＞

NEDO Challenge 運営事務局

メール：info@space-data-challenge.jp

（本事業全般に関するお問い合わせ）

**2024年3月**

NEDO Challenge Satellite Data for Green Earth 運営事務局

# 目次

I. 事業概要.....	3
1. 目的と趣旨.....	3
2. 本事業の特徴.....	3
3. テーマ設定.....	4
4. 提供する開発環境、及びテーマに関連したデータ.....	5
5. 専門家によるメンタリングの実施.....	9
II. 応募手続と選抜プロセス.....	10
1. 応募と選抜のながれ.....	10
2. 応募資格.....	10
3. 応募期間.....	10
4. 応募説明会の開催.....	11
5. 応募書類と提出先.....	11
6. 質疑応答.....	11
III. 審査の方法.....	12
1. 審査方法.....	12
2. 審査基準.....	12
3. 審査結果の決定及び通知.....	12
IV. 表彰及び懸賞金の支払い.....	13
1. 懸賞金額.....	13
2. 支払時期.....	13
3. 支払方法.....	13
V. その他の留意事項.....	14

# I. 事業概要

## 1. 目的と趣旨

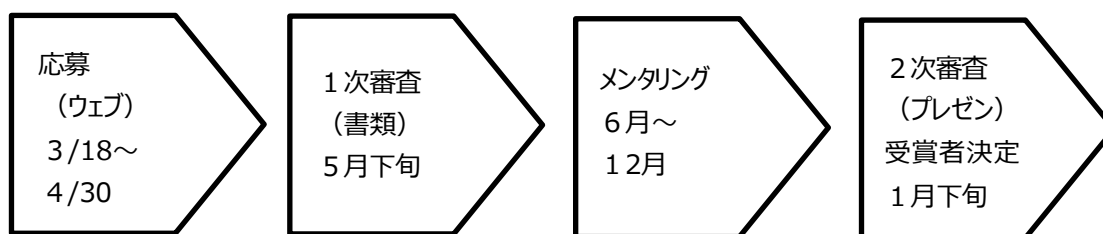
カーボンニュートラル実現等に向け、グリーン分野の研究開発が世界中で積極的に進められています。日本は、「2050年までにGHGの排出を実質ゼロにする」ことを宣言しました。我が国は2050年カーボンニュートラル実現にむけてグリーン成長戦略（令和3年6月18日策定）を策定し、再生可能エネルギーの有効利用、モーター駆動の車を主流にしていくこと、植樹や森林の管理や維持により二酸化炭素吸収量を増やすことなどを掲げています。

一方、経済産業省、NEDOは、衛星を活用した様々な社会課題の解決に資するソリューション開発に取り組んでいます。本取組においては、2019年に経済産業省が立ち上げたクラウド環境上で誰でも衛星データを利用できるオープンプラットフォーム「Tellus（テルース）」を展開しています。

本事業は、グリーン分野の課題の解決を、衛星データ等を活用することで、より効果的に実現する技術を収集・分析し、将来の共同研究等に繋がる技術シーズを発掘するものです。本事業においては、より多くの革新的・独創的なアイデア・提案を収集する目的で、懸賞金型コンテストを実施します。

## 2. 本事業の特徴

- 本事業では、グリーン分野に関連した社会課題の解決に際して衛星データの活用可能性を大きく広げることのできる技術・ソリューションの提案及び試験実装を目指します。
- グリーン分野において、技術的にも産業的にも意義が高く、実用化につながりやすい3つのテーマを設定します。
- 1次審査（スクリーニング）を通過した応募者には、衛星データプラットフォーム（Tellus）上の開発環境（コンピューティングリソース）を提供します。本事業終了後もグリーン分野における衛星データの活用ビジネスの拡大を加速させるために共同研究等につなげることを目指します。
- 専門家によるメンタリングを通じて、グリーン分野の提案を行ううえで求められる情報解析技術や、ビジネス価値のデザインについて、アドバイス等を実施します。



本事業のプロセス（予定）

### 3. テーマ設定

本事業において公募するテーマは、以下のとおりです。（全3テーマ）

テーマ①：カーボンプレジット基盤構築（グリーン・ブルーカーボン等）

テーマ②：エネルギーマネジメント基盤構築（風力・太陽光等）

テーマ③：気候変動・環境レジリエンス基盤構築（火災・水害・生物多様性等）

1 応募者による複数テーマへの応募は可能ですが、各テーマへの応募数は1つまでとします。

#### 【テーマの詳細】

#### テーマ①：カーボンプレジット基盤構築（グリーン・ブルーカーボン等）

##### 【背景】

世界的な気候変動などの影響により、CO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの排出量削減を目的に、クレジットの創出・取引でできるようにする仕組み（カーボンプレジット）の需要が増してきている。

##### 【課題】

- ・森林、農地、水域、海洋等を対象にした、カーボンプレジットの創出・流通を促す貢献に資する業界・技術課題を解決する試みであること。
- ・具体的には、MRV（測定・報告・検証）等の観点から、カーボンプレジットの品質や信頼を高めることに貢献すること。
- ・または、カーボンプレジットの創出・流通を促す貢献につながる、森林、農地、水域、海洋の、より適切かつ効率的な維持管理の実現等、業界・個社の抱える課題解決に貢献すること。

##### 【応募者への期待】

上記のような課題解決をより高いレベルで満たす情報サービス、意思決定の支援システムのプロトタイピングやそれを実現する手法開発を期待します。

#### テーマ②：エネルギーマネジメント基盤構築（風力・太陽光等）

##### 【背景】

気候変動の影響により、世界的に再生可能エネルギーの需要が増して起きており、太陽光・風力等をはじめとして、適地選定や発電量予測において、精度向上の必要性が増してきている。地上側でデータを取得するには限界があり、衛星データ等の活用が求められている。

##### 【課題】

- ・カーボンニュートラルの実現にむけた、風力・太陽光等をはじめとする再生可能エネルギーの普及促進に資する業界・技術課題を解決する試みであること。
- ・具体的には、適地探索、発電電力量予測、需要予測等の観点から、再生可能エネルギーの普及促進に貢献すること。

・または、関係する事業者・行政等における意思決定の支援や、点検・保守等における業務の効率化といった、業界・個社の抱える課題解決に貢献すること。

【応募者への期待】

上記のような課題解決をより高いレベルで満たす情報サービス、意思決定の支援システムのプロトタイピングやそれを実現する手法開発を期待します。

**テーマ③：気候変動・環境レジリエンス基盤構築（火災・水害・生物多様性等）**

【背景】

世界的な気候変動や人類の経済活動などの影響により、火災・水害のような環境変化に対するレジリエンスの向上、及び自然破壊等に対する自然保護活動の重要性（ネイチャーポジティブ・生物多様性への関心）が増してきている。

【課題】

- ・気候変動に伴う災害対応や生物多様性保護といった、自然・人的資本への貢献に資する業界・技術課題を解決する試みであること。
- ・具体的には、激甚化する風水害に対する被害軽減や、火山・林野火災等の早期検知等の環境レジリエンスの強化に資すること、さらに、生物多様性の維持管理及び回復をはじめとする自然資本の回復に関する課題解決に貢献すること。
- ・または、関係する事業者・行政等における意思決定の支援や業務の効率化といった、業界・個社の抱える課題解決に貢献すること。

【応募者への期待】

上記のような課題解決をより高いレベルで満たす情報サービス、意思決定の支援システムのプロトタイピングやそれを実現する手法開発を期待します。

**4. 提供する開発環境、及びテーマに関連したデータ**

本事業では、1次審査を通過した応募者に対して以下の開発環境を提供する予定ですが、本開発環境の利用は必須ではありません。また、クラウドGPUの提供については、ご要望に応じて事務局が検討します。

開発環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・さくらのクラウド4コア8GBSSD100GB (2台)</li><li>・Tellus Satellite Data Master with QGIS (8GB)</li><li>※Tellus Satellite Data Master with QGIS (8GB)の環境は以下の通りです。<ul style="list-style-type: none"><li>・CPU 仮想 6Core メモリ 8GB SSD500GB</li></ul></li></ul>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ご参考として、テーマに関連するデータを例示します。一部地上データは、提供元へ利用可否の問い合わせが必要です。また、下記例にないデータを持ち込むことも可能です（持ち込むデータの性質や内容を事務局が事前に確認することがあります）。有償データは、ご要望に応じて事務局が購入することも検討します。

## 【地上データの例】

### テーマ1. カーボンクレジット基盤構築

データ名称	概要	参考URL
森林生態系多様性基礎調査	森林・樹木に関するサンプリングデータ	<a href="http://forestbio.jp/">http://forestbio.jp/</a>
森林資源現況調査	樹種ごとの面積等の集計データ	<a href="https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/genkyou/r4/">https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/genkyou/r4/</a>

### テーマ2. エネルギーマネジメント基盤構築

データ名称	概要	参考URL
ひまわり日射量データベース	気象衛星ひまわり8・9号の衛星画像を用いた、任意地点の日射量推定データ	<a href="https://www.eorc.jaxa.jp/ptree/index_j.html">https://www.eorc.jaxa.jp/ptree/index_j.html</a>
NEDO日射量データベース	日本全土で実測・推測された日射量データ	<a href="https://www.nedo.go.jp/library/nissharyou.html">https://www.nedo.go.jp/library/nissharyou.html</a>
NeoWins	シミュレーションから得られた海上風況データ	<a href="https://appwdc1.infoc.nedo.go.jp/Nedo_Webgis/top.html">https://appwdc1.infoc.nedo.go.jp/Nedo_Webgis/top.html</a>
局所的風況予測モデル	気象予測モデルより推測された陸域風況データ	<a href="https://appraw1.infoc.nedo.go.jp/nedo/top/top.html">https://appraw1.infoc.nedo.go.jp/nedo/top/top.html</a>
地熱情報データベース	地熱調査研究で整備されてきたデータ	<a href="https://gbank.gsj.jp/gres-db/">https://gbank.gsj.jp/gres-db/</a>
再生可能エネルギーポテンシャルマップ	再エネ発電の導入実績・導入ポテンシャルをまとめたデータ	<a href="https://www.renewable-energy-potential.env.go.jp/RenewableEnergy/gis.html?energy=sunlight">https://www.renewable-energy-potential.env.go.jp/RenewableEnergy/gis.html?energy=sunlight</a>
自治体別集計マップ	市町村ごとに年間電力使用量・熱需要量を合計したデータ	<a href="https://www.renewable-energy-potential.env.go.jp/RenewableEnergy/gis.html?energy=jisseki_city">https://www.renewable-energy-potential.env.go.jp/RenewableEnergy/gis.html?energy=jisseki_city</a>
温室効果ガス排出量の現況推計に活用可能なツール類	全市区町村の部門別CO2排出量の現況推計値データ等	<a href="https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/manual4.html">https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/manual4.html</a>

### テーマ3. 気候変動・環境レジリエンス基盤構築

データ名称	概要	参考URL
国土地理院 災害関連情報	航空写真から読み取った浸水域や土砂災害崩壊箇所のデータ	<a href="https://www.gsi.go.jp/bousai.html">https://www.gsi.go.jp/bousai.html</a>
Global Forest Watch - Tree cover loss due to fire	Landsat画像から推定された、全球の森林火災推定データ	<a href="https://www.globalforestwatch.org/dashboards/global/?category=fires">https://www.globalforestwatch.org/dashboards/global/?category=fires</a>
ナウファス	過去分を含めた波浪データ	<a href="https://www.mlit.go.jp/kowan/nowphas/index.html">https://www.mlit.go.jp/kowan/nowphas/index.html</a>
自然環境調査Web-GIS	植生、動物生息域等のデータ	<a href="http://gis.biodic.go.jp/webgis/index.html">http://gis.biodic.go.jp/webgis/index.html</a>

【衛星データの例】

(1) Tellus上にあるデータ（自身の環境でもダウンロード可能な衛星データ）

データ名称	概要	参考URL
【サンプルデータ】GOSAT/L3全球CO <sub>2</sub> カラム平均濃度（SWIR）	全球の二酸化炭素濃度を算出したデータ	<a href="https://www.tellusxdp.com/ja/catalog/data/[sample_data]gosat_l3_global_co%E2%82%82_distribution_(swir).html">https://www.tellusxdp.com/ja/catalog/data/[sample_data]gosat_l3_global_co%E2%82%82_distribution_(swir).html</a>
ASTER GDEM ver.3	水平解像度30m相当、高さ精度約12m（日本域）の標高データ	<a href="https://www.jspacesystems.or.jp/ersdac/GDEM/J/1.html">https://www.jspacesystems.or.jp/ersdac/GDEM/J/1.html</a>
AVNIR-2_1B1	「だいち（ALOS）」に搭載されたAVNIR-2という光学センサで観測したデータ	<a href="https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos/a1_about_j.htm">https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos/a1_about_j.htm</a>
AW3D30	「だいち（ALOS）」に搭載されたPRISMというセンサのデータを基に作成された数値標高モデルのデータ	<a href="https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/dataset/aw3d30/aw3d30_j.htm">https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/dataset/aw3d30/aw3d30_j.htm</a>
GCOM-C/CHLA 8日平均（高次プロダクト）	「しきさい（GCOM-C）」に搭載のSGLIというセンサで観測した情報からクロロフィルa濃度（物理量）を算出し、8日間分の情報を統計処理した全球のデータ	<a href="https://suzaku.eorc.jaxa.jp/GCOM_C/data/update/Algorithm_SST_ja.html">https://suzaku.eorc.jaxa.jp/GCOM_C/data/update/Algorithm_SST_ja.html</a>
GCOM-C/CHLA 準リアルタイム（高次プロダクト）	「しきさい（GCOM-C）」に搭載のSGLIというセンサで観測した情報から、クロロフィルa濃度（物理量）を算出したデータ	<a href="https://suzaku.eorc.jaxa.jp/GCOM_C/data/update/Algorithm_IWPR_ja.html">https://suzaku.eorc.jaxa.jp/GCOM_C/data/update/Algorithm_IWPR_ja.html</a>
GCOM-C/SST 8日平均（高次プロダクト）	「しきさい（GCOM-C）」に搭載のSGLIというセンサで観測した情報から海面水温（物理量）を算出し、8日間分の情報を統計処理した全球のデータ	<a href="https://suzaku.eorc.jaxa.jp/GCOM_C/data/update/Algorithm_SST_ja.html">https://suzaku.eorc.jaxa.jp/GCOM_C/data/update/Algorithm_SST_ja.html</a>
GCOM-C/SST 準リアルタイム（高次プロダクト）	「しきさい（GCOM-C）」に搭載のSGLIというセンサで観測した情報から、海面水温（物理量）を算出したデータ	<a href="https://suzaku.eorc.jaxa.jp/GCOM_C/data/update/Algorithm_SST_ja.html">https://suzaku.eorc.jaxa.jp/GCOM_C/data/update/Algorithm_SST_ja.html</a>
GCOM-C/TSM 8日平均（高次プロダクト）	「しきさい（GCOM-C）」に搭載のSGLIというセンサで観測した情報から懸濁物質濃度（物理量）を算出し、8日間分の情報を統計処理した全球のデータ	<a href="https://suzaku.eorc.jaxa.jp/GCOM_C/data/update/Algorithm_SST_ja.html">https://suzaku.eorc.jaxa.jp/GCOM_C/data/update/Algorithm_SST_ja.html</a>
GCOM-C/TSM 準リアルタイム（高次プロダクト）	「しきさい（GCOM-C）」に搭載のSGLIというセンサで観測した情報から、懸濁物質濃度（物理量）を算出したデータ	<a href="https://suzaku.eorc.jaxa.jp/GCOM_C/data/update/Algorithm_IWPR_ja.html">https://suzaku.eorc.jaxa.jp/GCOM_C/data/update/Algorithm_IWPR_ja.html</a>
* HISUI	国際宇宙ステーション（ISS）の日本実験棟「きぼう」に搭載された、宇宙実証用のハイパースペクトルセンサ「HISUI」のデータ	<a href="https://www.jspacesystems.or.jp/project/observation/hisui/">https://www.jspacesystems.or.jp/project/observation/hisui/</a>
PALSAR_L1.1	「だいち（ALOS）」に搭載されたPALSARというLbandの合成開口レーダ（SAR）で観測したデータ	<a href="https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos/a1_about_j.htm">https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos/a1_about_j.htm</a>
PALSAR_L2.2	「だいち（ALOS）」に搭載されたPALSARというLbandの合成開口レーダ（SAR）で観測したデータ	<a href="https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos/a1_about_j.htm">https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos/a1_about_j.htm</a>

\* HISUIについてはご相談ください。

**(2) その他、衛星データ等の入手先(Tellusの開発/解析環境でのみダウンロード可能な衛星データ)**

データ名称	概要	参考URL
ASNARO-1_L1B	高分解能の光学衛星「ASNARO-1」のデータ	<a href="https://www.jspacesystems.or.jp/project/observation/jp-asnaro_r/">https://www.jspacesystems.or.jp/project/observation/jp-asnaro_r/</a>
ASNARO-2_L1.1	「ASNARO-2」で観測した合成開口レーダー (SAR) データ	<a href="https://jeoss.co.jp/">https://jeoss.co.jp/</a>
ASNARO-2_L1.5	「ASNARO-2」で観測した合成開口レーダー (SAR) データ	<a href="https://jeoss.co.jp/">https://jeoss.co.jp/</a>
ASNARO-2_L2.1	「ASNARO-2」で観測した合成開口レーダー (SAR) データ	<a href="https://jeoss.co.jp/">https://jeoss.co.jp/</a>
CE-SAT-IIB	超小型衛星「CE-SAT-IIB」で、2021年1月～2022年5月に東京都23区を中心に撮影した夜間データ	<a href="https://www.restec.or.jp/satellite/ce-sat-2b.html">https://www.restec.or.jp/satellite/ce-sat-2b.html</a>
GRUS_L3A	Axelspace の地球観測衛星コンステレーションを構成する次世代リモートセンシング超小型衛星GRUSのデータ	<a href="https://docs.axelglobe.com/ja/image-specifications">https://docs.axelglobe.com/ja/image-specifications</a>
PALSAR-2_L1.1	「だいち2号 (ALOS-2) 」に搭載されたPALSAR-2というLbandの合成開口レーダー (SAR) で観測したデータ	<a href="https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos-2/a2_sensor_j.htm">https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos-2/a2_sensor_j.htm</a>
PALSAR-2_L2.1	「だいち2号 (ALOS-2) 」に搭載されたPALSAR-2というLbandの合成開口レーダー (SAR) で観測したデータ	<a href="https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos-2/a2_sensor_j.htm">https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos-2/a2_sensor_j.htm</a>
SLATS_1B	「つばめ (SLATS) 」に搭載のSHIROPという光学センサ(パナクロマティック)で観測したデータ	<a href="https://www.satnavi.jaxa.jp/ja/project/slats/index.html">https://www.satnavi.jaxa.jp/ja/project/slats/index.html</a>
光学マルチバンド(0.8m/3.2m)データ	光学マルチバンド(0.8m/3.2m)データ相当性能のリサンプリングデータ	<a href="https://www.tellusxdp.com/ja/catalog/data/alos-3_pseudo_data.html">https://www.tellusxdp.com/ja/catalog/data/alos-3_pseudo_data.html</a>

**(3) その他、衛星データ等の入手先**

提供元	参考URL
NASA - Earthdata	<a href="https://www.earthdata.nasa.gov/learn/find-data">https://www.earthdata.nasa.gov/learn/find-data</a>
ESA - Copernicus	<a href="https://dataspace.copernicus.eu/">https://dataspace.copernicus.eu/</a>
Google Earth Engine	<a href="https://earthengine.google.com/">https://earthengine.google.com/</a>
G空間情報センター	<a href="https://front.geospatial.jp/#search">https://front.geospatial.jp/#search</a>



## 5. 専門家によるメンタリングの実施

本事業では、1次審査を通過した応募者に対して適切な専門家（メンター）による技術面あるいはビジネス開発面でのメンタリングを実施し、ネットワーキングの機会を提供します。また、頻度や実施内容については、可能な限りメンタリングを受ける方々の要望に応じ調整いたします。

種類	内容	実施方法
合同ワークショップ (適時実施)	オンライン形式のワークショップを開催し、事業化やプレゼン技能習得を基本とします。（4回程度開催予定。ただし、初回以降は参加任意。）	原則としてオンライン開催。 初回はハイブリット開催を予定。
個別メンタリング (定期的に実施予定)	研究開発の進捗管理のための定期ミーティングと、個々の研究開発に応じて技術や事業化に関するメンタリングを実施します。 ・技術等メンタリング3～4回程度 ・事業化メンタリング2回程度 ・進捗管理隔週（メールも可）	
その他 (必要に応じて事務局が企画)	個別メンタリングを通じて把握した通過者の要請等に基づき、共同研究等の相手先の紹介や宇宙、グリーン分野におけるコミュニティとの意見交換を実施します。 ・個別メンタリングとあわせて実施 ・その他、適宜必要に応じて実施	

メンターは、リモートセンシング技術やグリーン分野に関する専門家だけでなく、本事業で提案されたシステムのユーザーとなる産業界からも有識者を選定し、ユーザーとしてのニーズや課題、悩み等に関する助言を行います。

また、金融機関、投資家及びコンサルタント等も招聘し、事業化やマーケティング、資金調達の手法及びピッチコンテストにおけるプレゼンテーション等に関するアドバイスを提供する予定です。

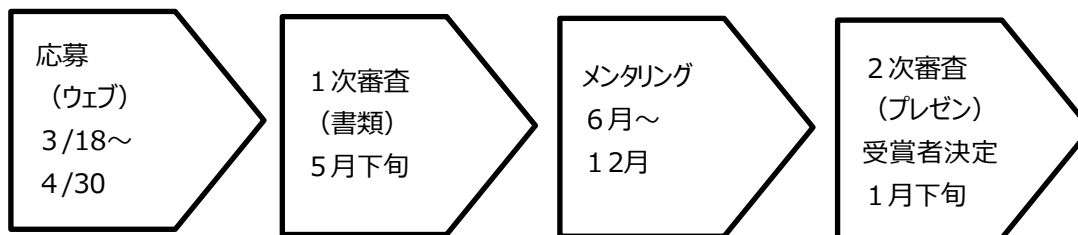
なお、メンタリングを担当した専門家から本事業終了後においてビジネス提案に対する支援を受けられることを確約するものではありません。

## II. 応募手続と選抜プロセス

### 1. 応募と選抜のながれ

応募提案は、書類選考による1次審査、プレゼンテーション（ピッチ）方式による2次審査を行います。

1次審査を通過した応募者に対しては、開発環境の提供および専門家（メンター）によるメンタリングを受ける機会を提供します。2次審査では、一般公開の場でのプレゼンテーション（ピッチ）方式による審査を行い、受賞者を選定します。詳細につきましては、後日ご連絡します。



本事業のプロジェクト（予定）

### 2. 応募資格

本事業では、法人・個人・グループを問わず応募することが可能であり、いわゆる大企業やスタートアップ、上場/非上場の別は問いません。ただし、我が国の法人格を有する民間企業、大学・公的研究機関等であること。

#### 【注意事項】

- 明らかに事業化を目指す意思がないと考えられるアイデアの応募は選考対象外となります。
- 新規開発だけでなく、既存システムの機能性向上等を目指すもの、あるいは、既存システムを組み合わせ新たな付加価値を創出しうるものも対象とします。
- スタートアップ等については、機関投資家等から資金調達を行っている場合であっても応募が可能です。
- 「国の競争的研究費（内閣府の「競争的研究費制度」に該当するもの）」のみで創出された成果については応募はできません。
- 事業管理上、NEDOの必要とする措置を適切に遂行できる必要があります。
- 企画運営事業者と利害関係にある場合は、応募することができません。
- 「補助金交付等停止措置」に該当中の研究者や機関は応募できません。
- 反社会的勢力である者、反社会的勢力との間に過去・現在又は直接・間接を問わず、取引、金銭の支払い、便宜の供与その他一切の関係又は交流がある者、また、反社会的勢力に属する者又は反社会的勢力との交流を持っている者が役員に選任され、従業員として雇用され又は経営に関与している事実がある者は、応募することができません。
- 上記に関わらず、当事務局が不適切と認めた場合や本事業に関する要件等に違反または不正があった場合には、事務局の判断により応募資格取り消しまたは審査結果の全部または一部について取り消しを行うことがあります。

### 3. 応募期間

公募開始日： 2024年3月18日

締め切り日： 2024年4月30日 正午

#### 4. 応募説明会の開催

応募説明会をオンラインで実施します。当日参加できない方は後日アーカイブをご視聴ください。

開催日時：2024年4月3日（水）10：00～11：00

視聴方法：下記専用サイトにてオンライン説明会について公開いたします。

- NEDO Challenge ～Satellite Data for Green Earth～

<https://space-data-challenge.nedo.go.jp>

#### 5. 応募書類と提出先

- 1 ホームページから必要な書類をダウンロードし、必ず受付期間内にWeb申込受付フォームから必要情報の入力と提案書及び関連資料のアップロードを行ってください。指定された様式以外でのご応募は認められません。

【提出書類】[様式1]提案書

応募書類は、下記サイトよりダウンロードしてください。

<https://space-data-challenge.nedo.go.jp>

- 2 応募書類は、下記の受付フォームより提出してください。  
締め切りを過ぎての提出や応募後の書類等の変更、差し替えは認められません。

【提出先】

以下ホームページに記載の専用受付フォームから提出ください。

<https://space-data-challenge.nedo.go.jp>

- 3 提出された応募書類は本事業における審査の目的及び広報活動に関するコンテンツ利用以外には使用しません。  
機密保持には十分配慮しますが、採択された場合には、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」（平成11年5月14日法律第42号）に基づき、不開示情報（個人情報、法人の正当な利益を害する情報等）を除いて、情報公開の対象となりますのでご了承下さい。

尚、応募締め切り後に、内容について確認等の連絡を行う場合があります。

#### 6. 質疑応答

ご応募に当たっての質疑応答は、電子メールでのみ実施します。以下の方法によらない問い合わせについては応じかねますので、あらかじめご了承ください。

<質問受付>

質問事項は以下の事務局あてに電子メールにてご提出ください。

なお、連絡の際は、メールの件名に必ず「質問（NEDO Challenge）」と記載し、本文に「所属団体名」、「担当者名」、「メールアドレス」を明記ください。

NEDO Challenge 運営事務局 メール：[info@space-data-challenge.jp](mailto:info@space-data-challenge.jp)

受付期限：2024年4月26日（金）正午迄

<質問回答>

ご提出いただいた質問へは、原則3営業日以内に事務局から電子メールにて回答をお返します。

なお、よくある質問は、一定程度まとまったタイミングで、応募資料を掲載しているサイト（<https://space-data-challenge.nedo.go.jp>）にて公開します。

### III. 審査の方法

#### 1. 審査方法

- ・民法に基づき、以下の審査を経て決定した受賞者に懸賞金を支払います。
- ・審査は、応募書類に基づいて当該領域の有識者で構成する審査委員会を設置し、実施するものとします。必要に応じて申請者に対してヒアリング等を実施するほか、追加資料の提出を求めることがあります。

#### 2. 審査基準

以下の審査項目に基づいて総合的な評価を行います。

- ・1次審査は、以下の審査項目を適用します。2次審査は、開発後の成果物を審査する視点で、別途審査項目を設定します。
- ・審査委員のうち、各応募者と利害関係を有するものは、その応募者についての審査から外れることとします。
- ・提案書を作成する際に、以下の3項目について判断基準となる記載を必ずすべて盛り込んで下さい。尚、応募締め切り後に、内容について確認等の連絡を行う場合があります。

審査項目	審査の内容
アイデアの妥当性	グリーン分野に関するテーマ課題に基づき、宇宙という素材を活用した新たなサービスを創出する内容であること ・ これまでにない新しいアイデアであるか ・ テーマに係る課題を的確に捉えているか ・ 衛星データを活用することにより、従来手法より優れた成果が見込めるか ・ 将来的に実現可能なアイデアであるか、など
開発技術の妥当性	提案のシステムを実現するにあたり、開発の基となる衛星データ利用に関する技術が実現可能なレベルにあること ・ 衛星データを利用した開発を進めるための技術シーズを有しているか、あるいは技術シーズを創出できる見込みがあるか、など
実用化による社会発展性	開発されたシステムやそれを活用したサービスについて、社会全体への波及効果が期待できるものであること ・ 実用化に向けた想定ユーザー、ステークホルダー、市場ニーズや付加価値等が示されているか ・ 実用化による社会的インパクトは十分に大きいか ・ 実用化に向けたスケジュールとプロセスが示されているか、など

#### 3. 審査結果の決定及び通知

1次審査、2次審査の審査結果については、NEDOホームページ及び専用サイトにて公表し、また全ての応募者へ電子メールにて通知します。

NEDOホームページ及び専用サイトでは、1次審査の通過者、2次審査の受賞者それぞれの代表者を公表します。（代表者が法人であれば法人名、個人であれば個人名）ニックネームは不可とします。

なお、審査結果に関するお問い合わせには一切応じかねますので、あらかじめご了承ください。

- 1次審査の結果公表：2024年6月4日（HP公開：6月17日）（予定）
- 2次審査の結果公表：2025年1月下旬（予定）

## IV. 表彰及び懸賞金の支払い

### 1. 懸賞金額

テーマ	懸賞金額
テーマ1：カーボンプレジット基盤構築 (グリーン・ブルーカーボン等)	1位：1,000万円 2位：400万円 3位：200万円
テーマ2：エネルギーマネジメント基盤構築 (風力・太陽光等)	1位：1,000万円 2位：400万円 3位：200万円
テーマ3：気候変動・環境レジリエンス基盤構築 (火災・水害・生物多様性等)	1位：1,000万円 2位：400万円 3位：200万円

上位3位までには選定されなかったが、公共性・公益性が高く、将来的に社会課題解決につながり得ると判断されたものについては、審査委員特別賞を授与することがあります。

なお、いずれも、審査の結果、該当なしとなる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

受賞者には上記「懸賞金額」と「成果物の創出に要したコスト」の低い額を支払います。

- ・2次審査実施前に、「成果物の創出に要したコスト」の資料を提出いただきます。
- ・「成果物の創出に要したコスト」には、「労務費」、「機械装置費」、「諸費」の金額を計上してください。それぞれの証憑や細目等は求めません。
- ・計上可能な期間は、成果の作製開始から完了までとし、公募開始前の費用も計上可能です。

### 2. 支払時期

懸賞金の支払いは、受賞者決定後の2025年3月末までに一括精算払いとなります。

### 3. 支払方法

懸賞金は単独事業者およびコンソーシアムの代表団体に一括でNEDOからお支払いします。

コンソーシアム体制の場合、その参加団体へのお支払いは、代表団体より行っていただきます。

支払いは請求書の提出をもって行います。

請求書は代表者名で提出してください。また、懸賞金の振込先は、応募申請書に記載の応募者としてください。応募者以外の振込先である場合、応募者との関係を示す書類を提出いただきます。

支払に係る必要な手続きについては、別途受賞者へ通知します。

## V. その他の留意事項

- 1 応募・1次審査・2次審査及びメンタリング等の参加に係る費用は各自でご負担ください。また、これらに参加するためのオンライン環境は各自でご用意ください。
- 2 応募された提案に関する著作権その他の知的財産権は応募者に帰属します。応募された提案は、第三者の著作権その他知的財産権を侵害していないものに限ります。万一、応募提案が第三者の権利を侵害している場合又は侵害するおそれがあると事務局が判断した場合(応募後に侵害となった場合を含みます)、受賞発表後でも受賞を取り消すことがあります。
- 3 応募書類に記載された情報や2次審査における様子等は、事務局が広報PRのために、雑誌、書籍、ウェブサイト、メールマガジン等の各種媒体で発表又は利用する場合があることにつきご了承ください。これに伴って、応募者が記載した情報の一部を要約・翻訳などの変更を行うことがあります。
- 4 2次審査の出場者には受賞の有無にかかわらず、応募及び1次審査通過後の開発に掛かった費用についてヒアリングさせていただく場合がございます。
- 5 本事業への申請に係る提出書類により事務局が取得した個人情報については、以下の利用目的以外に利用することはありません。(ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます)。
  - ・本事業の応募者審査・選考・事業管理のため。
  - ・選抜後の事務連絡、資料送付等のため。
  - ・申請情報を統計的に集計・分析し、申請者を識別・特定できない形態に加工した統計データ作成のため。
- 6 提出された応募書類については、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」(平成11年5月14日法律第42号)に基づき、不開示情報(個人情報及び法人等又は個人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるもの等)を除いて、情報公開の対象となります。なお、開示請求があった場合は、不開示とする情報の範囲についてNEDOとの調整を経て決定することとします。
- 7 次のいずれかに該当するときは、受賞の決定を取り消します。
  - ・受賞者が、法令等に違反したとき
  - ・受賞者が、懸賞金の交付等に関して不正をしたとき
  - ・受賞者が、本応募要項の応募資格に関して虚偽があったときなお、受賞の決定を取り消した場合において、既に受賞者に懸賞金が支払われているときは、受賞者に対して、懸賞金の返還を請求します。
- 8 コンテスト終了後、アンケートへのご協力をお願いします。
- 9 本内容に変更がある場合には、専用サイト (<https://space-data-challenge.nedo.go.jp>) にてお知らせします。

以上